

なんだ・かんだ

◆ 今一度地震への備えを確認 ◆

元旦の震災や航空機の事故は、「まさか、そんなことが……」とされていることが起きる。そんな現実を目の当たりにしました。

気象庁によると、東日本大震災以降日本では震度6弱以上の地震は、31回(東日本大地震も含む)発生しています。そして、このうち震度7以上は、2011年3月11日の東日本大地震、2016年4月の熊本地震、2018年9月に北海道胆振東部地震、そして今回の能登半島地震です。

政府の地震調査委員会は、関東大震災の様な首都直下地震が、30年以内に起きる確率は70%程度あり、かつ死者が最大2万3千人にのぼるとの分析をしています。また、静岡県駿河湾から、遠州灘、熊野灘、土佐湾、そして宮崎県日向灘沖にかけて続く「フィリピン海プレート」と「ユーラシアプレート」が接する海底溝に沿って起こる南海トラフ地震についての発生予測はさらに切迫していて、30年以内の確率は70~80%、死者が最大32万3千人に達しかねないとのこと。

私が住む静岡県沼津市は、南海トラフ地震の想定される地域の東の端に当たります。また、同時に最近よく当たると言われているハザードマップの津波被害予想地域にも指定されています。

人はだれでも最悪の想定から目をそむけてしまいます。正常性バイアスと呼ばれる心理だそうです。大地震が起こった時には防災用品を確認したり、家族と災害時の連絡方法を相談したりしますが、時間が経ってしまうと考えることをしなくなり、気が付くと避難食や水は更新を忘れて期限切ればかりになってしまいます。

私の家では水・食料・電池・寝袋・ラジオ・ヘルメットやその他の防災グッズに発電機まで準備し、地震への備えは結構している方だと思います。また、毎年9月初旬に保存食や水の更新をしていますが、たまたま昨年の9月は更新をせず、しなければいけないねと言いながら年を越してしまいました。今回の能登半島地震で再度地震に対する緊張感を取り戻し最悪に対する準備をしていきます。

今回の地震を見ると、当家の災害準備では多少準備不足ではないかと感じました。大規模な災害時には2~3日で食料などの援助が届くのは難しいのではないかと、山間の土地ではないのですが、最低でも1週間分の水や食料の準備が必要だと思いました。

また、重要なのはトイレです。下水がやられると逆流などの恐れもありトイレに水を流すことが出来なくなりますし、下水のインフラの復旧は1週間では難しいのではと思います。東日本大震災の際、避難所に仮設トイレが到着したのは、3日以内が全体の34%、1週間以内が50%、20%が2週間以上かかったそうです。南海トラフは太平洋側の広範囲で被害が想定されるので、かなり時間がかかることが予想されます。

友人の防災に詳しい方がこれだけは準備しなければだめだと言っていたのが、●ビニール袋と凝固剤のセットの災害トイレ100回分(人がトイレに行く回数は1日平均6~7回だそうです)

そして●水は、一人36L、2Lのペットボトル6本入りを3ケースが最低でも必要だと言っています。

元旦の能登半島の震災は、想定外の出来事に備えなければだめだという警鐘だと思って行動して行きます。まずは防災用品の更新です。



■ 無線式ロードセル ■

当社100周年に際しメーカー様が販売協力して頂ける商品の紹介です。まずはマーテック様のロードセル「ラジオリンクプラス」(クレーン用の無線式電子秤)です。1~55tonをラインナップ。手元のモニターでロードセルを読み取ることができます。

これまでの表示付の秤とは違い、●軽い ●製品に近づかなくても重量が確認でき安全 ●精度±0.1%で正確 ●防水仕様で屋外使用が出来る ●1台の手元モニターで同時に4台を読み取れる ●乾電池で最大1200時間稼働等。ご興味のある方は当社担当までお尋ね下さい

今年も宜しくお願い致します。

能登半島地震という大きな災害から始まった今年ですが、当社としては通常通りのスタートといった感じでした。被災された方々が一日でも早く日常を取り戻される様を祈念申し上げます。

さて、今年は5日から新年挨拶回りをして参りました。毎年「今年はいかがですか」とお尋ねするのを恒例としているのですが、当社のお客様の今年の状況は概ね良好。ダイハツの問題等もある様ですが、先行きに不安を口にするお客様は見られませんでした。

毎年ウオッチしている日経新聞お正月版の「主要企業20社の経営者に今年の景気見通しを聞く」特集では、「BtoB」は前年度比伸び率は平均で1.0%、「個人消費の回復等、内需の復調」に期待が高まっています。

反面、「円安の進行や原材料価格の高騰」「中・米・欧の景気の減速」「物流の2024年度問題」等が懸念されていました。

毎年年の初めは良い情報、悪い情報色々ありますが、今年はお客様の好調に乗って1年乗り切って行けそうな感触です。

代表取締役 服部 徹一郎

社員ブログ

● ペットの災害対策 ●

営業二課 鈴木智恵

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。また、1月1日に発生した能登半島地震で被害を受けられた皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

我が家には猫が2匹いる為、災害時の避難について今回改めて考えました。もちろん連れて行くつもりですが、一緒に避難できる場所はあるのか…以前から不安に思っていました。調べてみると、環境省は「飼い主はペットと一緒に避難する」同行避難を推奨していますが、飼い主がペットと同室で過ごすということではなく、避難所でのペットの居場所は、体育館の軒下等の屋根のある屋外が基本で、飼い主が持参したキャリーバック等に入れて過ごすことになるようです。

また、ペット同行避難が可能な避難場所はまだまだ少なく、避難所がペット不可の場合も想定し、車中避難の対策や預け先についても考えておく必要があります。

現時点での対策は、ペットシートやごはん、洗濯ネット等最低限の物を揃える事。また、すぐに連れ出せる様、キャリーバッグに慣らす為、常に部屋の見える場所に出しています。首輪をつけていないので、迷子札付きの首輪をつけるか、マイクロチップを入れるか検討中です。

いつ起こるか分からない災害ですが、身近なものと感じ、日頃から備えておくことが重要です。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思ひます。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail ger@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/